

結 果 の 要 約

- 1 平成 17 年 10 月 1 日現在の長崎県の人口は 1,478,632 人で、前回調査の 12 年に比べ 37,891 人、2.5%減少している。
- 2 人口を市町村別にみると、長崎市が 442,699 人(県人口の 29.9%)で最も多く、次いで佐世保市が 248,041 人(同 16.8%)、諫早市が 144,034 人(同 9.7%)、となっており、最も少ないのは鷹島町の 2,570 人(同 0.2%)となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 691,444 人、女性が 787,188 人で、女性が 95,744 人多く、人口性比(女性 100 人に対する男性の数)は、平成 12 年の 88.6 から 87.8 と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 215,987 人(県人口の 14.6%)、15~64 歳人口は 913,224 人(同 61.8%)、65 歳以上人口は 348,820 人(同 23.6%)となっている。これを平成 12 年と比べると、それぞれ、1.4 ポイント低下、1.3 ポイント低下、2.8 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 64.2%、女性が 54.8%、未婚率は男性が 27.8%、女性が 21.9%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 5,675 人で、平成 12 年に比べ 1,019 人、21.9%増加している。
- 7 長崎県の一般世帯数は 551,530 世帯で、平成 12 年に比べ 8,545 世帯、1.6%増加している。また、一般世帯のうち 2 人世帯は 159,398 世帯(一般世帯の 28.9%)と最も多くなっている。
一般世帯の 1 世帯当たり人員は平成 12 年の 2.71 人から 2.59 人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 326,443 世帯(一般世帯の 59.2%)で、このうち夫婦のみの世帯は 116,826 世帯(同 21.2%)、夫婦と子供から成る世帯は 154,822 世帯(同 28.1%)となっている。また、単独世帯は 149,545 世帯(同 27.1%)となっている。
- 9 65 歳以上親族のいる一般世帯は 228,351 世帯(一般世帯の 41.4%)で、このうち「一人暮らし高齢者」(65 歳以上の単独世帯)は 56,867 世帯(65 歳以上親族のいる一般世帯の 24.9%)、高齢夫婦世帯^(注)は 60,264 世帯(同 26.4%)となっている。
(注) 夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は 65.1%で、平成 12 年に比べ 0.4 ポイント低下している。また、住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、平成 12 年の 95.1 m²から 95.5 m²と広がっている。

図1 長崎県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

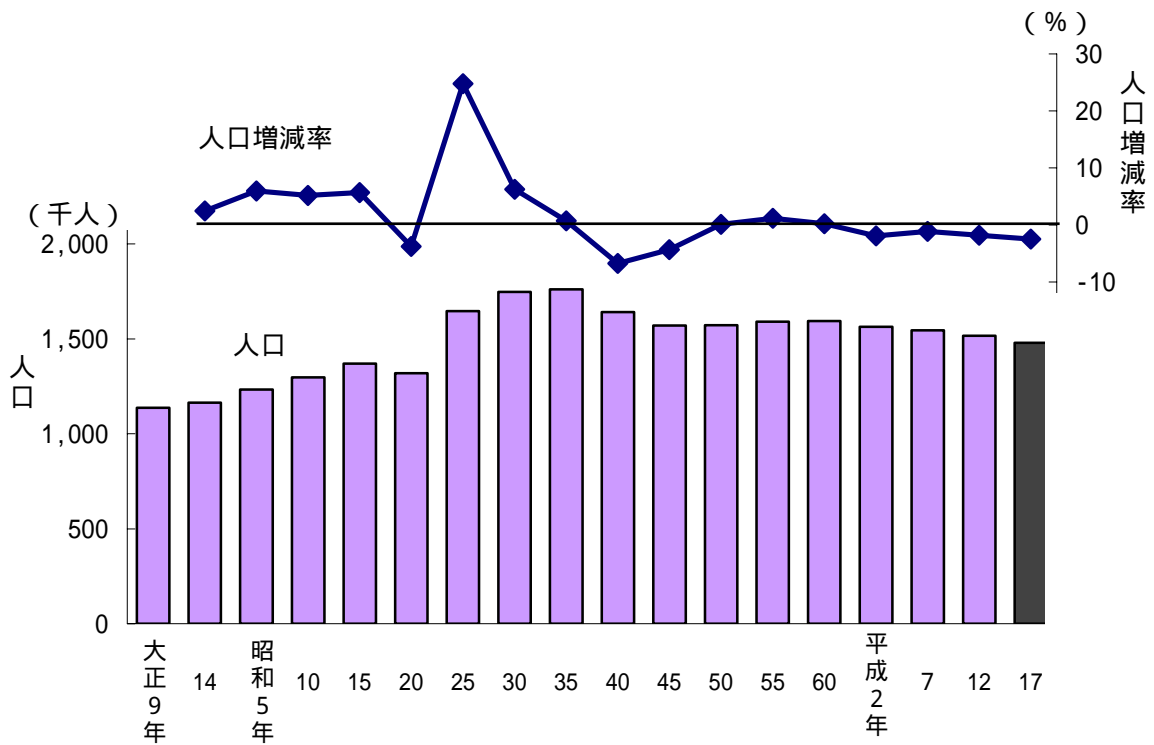


図2 長崎県の年齢（各歳），男女別人口（平成7年・17年）

